



小田嶋忠 議員

慢性的な職員不足解消への考えは

市長

業務の効率化を基本に
適正な職員数を維持する事が重要と思う

景観重視の取り組みを

質問 天然記念物シダレザクラの指定木が欠損している。

その原因と処理については、文化財保護法に基づいてなされたものか。伝建群周辺の景観保護を重要視した取り組みをお願いする。

答弁 平成21年5月頃、指定木の花が咲いていない状態の為、根元から切除した。原因は除草剤の散布等が疑われると聞いている。その都度、文化財保護法に沿って手続きをしている。

質問 指定木隣接地の相続人から当該土地を購入して欲しいと、市に申し入れがあったと聞く。その結果と理由を伺う。

答弁 場所は樺細工伝承館から鈴木内川堤に続く一角で、購入後の利用目的をはっきりさせることが第一であると話し、市では購入できない状況と説明した。市が提示した賃貸借契約の条件が折り合わず、他者への転売となった。

地域活性化と地域課題解決の関連は

質問 ドローンによる地域活性化をどのように図っていく

か。地域の課題解決との関連をどのように考えるか。また、市民へのメリットは何なのか。

答弁 地域課題解決と活性化を同時に進めていきたい。ドローンが市民の課題解決の道具となり、身近な技術として活用できるように進める。技術者の育成と民間事業者との連携、市内企業とのマッチングを進めていく。

慢性的職員不足解消への考えは

質問 市の一般行政職員数は、合併時の四分の三以下になっている。早期退職者が多く、公約実現のための新規業務も増えて、慢性的な人員不足に陥っている。人員不足の解消、時間外勤務の縮減に対する考えを聞きたい。

答弁 職員一人当たりの業務量が増加していることは認識している。これ以上の減少は、市民サービスの低下につながりかねないという危機感を持っている。事務事業の見直し、業務の効率化を基本に適正な職員数を維持する事が重要と思う。

公共施設指定管理が
価格重視ではないか

質問 公共施設指定管理の業者選定に当たり、価格競争の様相を呈し、そこに働く労働者の雇用条件について評価を行っているか。併せて指定管理料の具体的な算定方法はどうなるか。また、公共サービス提供のために公契約条例が必要と考えるがどうか。

答弁 指定管理候補者選定委員会、事前に設定した項目で審査している。職員体制、採用・確保の方策が適切かを評価しており、低価格であればよいという判断基準ではない。適切な委託料の設定に努めたい。

公契約条例の制定は、ワーキンググループを設置し、調査研究を行いたい。

(熊谷一夫記)



■景観保護重要視の伝建群に

物産館建設で観光と1次産業の振興を図れ



阿部 則比古 議員

市長

ご指摘は私の思いそのものだ

道の駅建設を急げ

質問 本市の更なる観光振興と地場産業振興の起爆剤として今こそ物産館（道の駅）の建設が必要だ。当地の物産のウイークポイントは果樹や他の園芸関係の少なさだ。道の駅の営業に向けてこうした分野の開拓が必須だ。農地の集約化によって発生した農業経験豊かな高齢者の余剰労働力を県果樹試験場や先進地の協力を得ながらもう一度喜びをもって働いて貰うべきだ。

答弁 ご指摘の思いはそのまま私の思いだ。8年前に設立させて頂いた総合産業研究所は土壌調査から、果物葉物他これまで無かった生産物の基礎研究をしている。現在は、漢方の原料に力を入れている。園芸作物の販売状況はいいだけ約1億3、



■賑わう道の駅庄内

800万円、花卉は1億1、400万円、アスパラ2、500万円、そらまめ2、200万円、いちご800万円、ネギは5、300万円と着実に増えている。ぶどうも8農家で66・49アール、ブルーベリーやラズベリーの生産も始まっている。農業再生協議会等で様々な品目の応援をしている。補助事業等のメニューを作って応援させて頂いている現状にある。

桧木内地区に林業公社の設立を

質問 ウイスキーやワイン熟成用の樽材である北欧産オーク材（樽の一種）が枯渇しつつあり、代替材の水榿等も世界的に少なくなり、良材の入手が難しくなってきた。本市には大量の榿が有る。良質部はフローリング材や樽材に他は薪、チップ、パレットに無駄なく使用できる、パイロット事業として桧木内地区に林業公社を設立出来ないか。前述の樽は相当に高価なようだ。樽職人を招聘し、旧上桧木内小学校校舎を利用してウイスキー樽を生産したら、新たな産業振興と地元榿林の持ち主の収入にもなり一石三鳥にも四鳥にもなると思うがどうか。

答弁 大変興味深い。これまでになかった



■本市には大量の榿が有る

たアイデアと思う。本市に相当量の蓄積があると思うが、これまで製材用や合板用、チップ用が殆どだったが、通告で提案いただいて、すでに大手ウイスキーメーカーとやり取りをしている。先方も大変興味を示している現状があるし、今後榿の集積量等、調査の手順を踏みたいと考えている。

（平岡 裕子 記）



八柳良太郎 議員

伝承館を音楽活動の拠点として活用出来ないか

市長 多目的に活用できるように審議する

伝承館に簡易な音楽機器の設置を

質問 榊細工伝承館は総合研究室、研修室、喫茶室を備えており祈願祭、講演会、研究発表会、各種大会等入館者は10万人程である。

音楽関係者から館内移動出来る簡易な音楽機器の設置を望む声が多い。榊細工伝承館という施設ではあるが、ジャズコンサート、合唱団の定期演奏、ライブコンサート、ピアノ演奏会等も開催されている。最近では戊辰戦争の縁で大村市との姉妹都市交流の際、大村市出身の歌手「カツルミ」さんが、施設を利用された。

プロの方からセミプロの方までの要望が次の通りである。

- ① 上げ下げに大変難儀をしている。ピアノのバックヤードが出来ないか。
 - ② 簡便な備え付けのPAセットが欲しい。左右のスピーカー、ワイヤレスを含んだマイク3本、返しのスピーカー。
 - ③ 簡易な照明がほしい。
- 答弁** ワイヤレスマイク4本、ミキサーアンプ、ポータブルステレオスピーカーと最



■プロアマ仕様の簡易PAセット

低限の物は対応してきた。空調設備改修も含めこれまでに幅広く多目的に活用できるようにバックヤードのことも伝承館審議会で審議をいただく。

さくら開花の温暖化対策を急げ

質問 今年の2月バンコクでのタイ最大の見本市に日本各地の自治体、観光協会など70団体が参加。仙北市も「タイで角館のさくらをPR」と報じられた。

① 海外に売り込もうとしている桜を温暖化対策を取らず

にこのままにしているのか。遅咲きの桜をどうするのか。

- ② 古城山の桜や登山道をどうするのか。
- ③ ウソ対策をどうとるのか。
- ④ 夜桜見物の復活と駐車場の一部無料化について
- ⑤ テングス病対策について

答弁 ① 遅咲き桜の選定と植栽は効果的と考える。市内に植栽を進め誘客につなげた。既に活動は始まっている。

- ② 山は憩いの場として整備された経緯あり。山から見た角館の四季折々の景色を次世代に見せることが目標。
- ③ ウソの桜木内堤での定期



■ウソの食害が目立つ古城山

駆除によりきれいな桜を見ることが出来た。

- ④ 5日の『祭り反省会』で桜並木駐車場の夜間無料開放や屋根のある飲食可能施設の復活等の意見交換があり、岩瀬北野線沿い桜並木のライトアップ、大型ビニールハウスや棧敷席設置の検討を進める。
- ⑤ テングス病対策は現在病気の枝を切るしかない。提案の研究機関への問い合わせはしてゆきたい。

(阿部則比古記)

旧小学校等の公共施設の利活用策は

高久昭二 議員



市長 利活用策について衆知を集め検討していく

田沢湖郷土史料館の利活用と展示品の取り扱いは

質問 貴重な文化財、文化遺産を次世代に継承、発展する為のクニマス未来館オープンに伴い、田沢湖郷土史料館展示品、合計307点及び黒倉遺跡群の保存、管理、公開はどうするのか。また、史料館の利活用策は

答弁（教育長） クニマスに関連した資料については、クニマス未来館へ、わら細工、民具等は思い出の潟分校へ、黒倉遺跡、湯前遺跡展示品は、JR田沢湖駅の田沢湖情報センターフォレイク2階に展示する方向で検討している。

質問 田沢湖郷土史料館の利活用の可能性がないとすれば解体も一つの方策と思う。フォレイク2階はアイリスと国土交通省関連の展示物でいっぱいとなっているが、利用について関係部署と打ち合わせをしているのか。

答弁（副市長） 現在関係部署と協議中であるが、各部署とも市の方針に理解を示している。

旧小学校の活用によ



田沢湖郷土史料館の展示品はどこへ

る郷土資料等の一般公開を

質問 田沢湖、角館、西木地区郷土資料、古文書、公文書の管理、公開について、大仙市アーカイブスを例に、市内旧小学校を活用し、佐竹北家資料を含め一般公開出来ないか。

答弁（教育長） 佐竹北家日記は学習史料館、他資料等は伝承館で企画展示、公開している。今後一括管理公開を大仙市アーカイブスを参考に前向きに検討したい。

旧市立角館総合病院跡地の利活用策は

質問 市の財政硬直下で、旧角館総合病院解体費用をどう



病院跡地の活用等は

捻出するのか。

特に夜間はゴーストタウン状態になり、今後利活用、地域活性化含めどう対応するか。

答弁 旧市立角館総合病院の解体、利活用については早急に検討する。現在、病院財産（企業財産）であるが、今後利活用を検討する上で、市有財産に移管し、庁舎内に横断的組織を立ち上げ、年度内に結論を出す方向で作業を進める。

質問 統合庁舎建設のため、旧管理棟活用案を採用すれば、合併特例債で解体出来たが、約2億円以上の解体費用や跡地利用をどうするか重要な課題である。病院跡地を老朽化

著しい岩瀬市営住宅用地として一部活用する。向かい駐車場跡地に小規模企業誘致用地とし、特に大館市の医療原材料や紙オムツ製造工場のような誘致が出来ないか。
答弁 合併特例債の活用は新市計画で盛り込まれた事業で上限一杯で、それ以外の事業には活用することはできない。過疎債の活用を検討し、一部を一般財源の適用として、病院解体費用の捻出を検討したい。
跡地についても、さまざまな活用の一つとして企業誘致で雇用の増大を図るといふことも当然議論しなければならぬ。

（門脇民夫記）

仙北市はり・きゅう・マッサージ施術費助成制度の見直しを



日本共産党 平岡 裕子 議員

市長 市民の経済的負担を軽減できるように作業を進める



■施術費助成のエリアの拡大を

治療費の負担軽減を

質問 リンパ節のマッサージに、秋田市まで通っておられる方がいる。仙北市の施術費助成制度は、施術所が市内、大仙市、美郷町と限られているが、地域の拡大はできないか。

答弁 治療に要する市民の経費負担の軽減は、大変重要な施策である。市民が通院・通所しやすい交通等の利便性に配慮して、近距離にある施術所を指定し、この制度の運用に当たっている。現段階で範囲の拡大は困難ではないかと考えている。

質問 制度では、一回の施術

費助成が800円、交付枚数は年6枚となっているが、額の見直しはできないものか。

答弁 近隣の自治体では、大仙市は一回800円で年12枚、美郷町は一回1,000円で12枚となっている。このばらつきは、十分に検討する意義がある。30年度の見直しに向けて作業を進めたい。

児童生徒の健康増進と親の経済負担軽減を

質問 健康診断の結果、子どもの栄養状態、視力、歯、口腔の状態はどうか。結果の対応はどうか。

答弁 (教育長) 栄養状態は、貧血検査と肥満度等により把握している。28年度結果で、貧血は全体で47人、うち受診者は68%。肥満度20%以上は253人、痩せすぎは34人。視力は、420人に受診を奨めている。うち受診者は50%。歯列、咬合については220人に受診を奨め、治療、矯正は、うち34%となっている。

質問 結果からして、医療機関の受診者が低いように思うが、要因は何か。

答弁 (教育長) 受診のための、時間の確保が難しい。家庭の認識の違いによることもある。矯正治療は非常に高額になるので大きな理由と捉えている。

質問 学校での歯科検診により、歯科医から受診を勧められ、結果が保険適用外の矯正となり、高額で応じられない現実がある。助成について検討課題と捉えるが、市長の所見を伺う。

答弁 自分が知る限りでは、どこも対応ができていないと思っている。歯の健康は大変重要である。現状では、客観的にみても基準作りが非常に難しい実態があることを理解していただきたい。

農業者と消費者の交流、農業振興を図るために

質問 先に、農業委員会から提出された建議書の「道に、地産地消対策として「道の駅」の早期実現を要望する」とある。回答は、設置に向けて様々な課題解決をしなければならぬ。誰が直売施設の運営に当たるのか懸念してい



■充実した販路の拡大を

る内容であった。市民の期待の多い事案の実現に向かって、今年度、9万円が予算措置されている。準備室の立ち上げなど積極的な施策はないのか。

答弁 この事案については慎重に当たらなければと思っている。道の駅自体は国交省から応援いただくことができるが、付随する直売所は、行政、農家の方々、商工業者の方々が一致団結した思いがなければ前に進むことはできない。事前的な取り組みが今年からできている。

(八柳良太郎記)

水田の小規模基盤整備事業の可能性はあるか。

黒沢龍己 議員



市長 規制緩和により受益面積が10ha以上が可能である

水田の大規模基盤整備率は

質問 市の水田面積4,834haの中で、大規模基盤整備がされている水田は何%か。

答弁 水田面積4,834haの中で、整備を実施するべき目標面積が4,040haで、平成28年度末で2,690haが整備されており、整備率が66・5%である。

質問 今後の大規模基盤整備の計画について伺う。

答弁 現在の計画は、生保内南地区109ha、神代地区285ha、西木鎌足・八津地区17ha、中川地区119haであり、整備済みの面積と合せると3,220haとなり整備率は約80%となる予定である。

水田の小規模基盤整備事業の可能性はあるか。

質問 中山間地域は大規模基盤整備事業の採択要件である、1団地20ha以上をまとめて確保することが困難なので緩和措置はないか。

答弁 本市は過疎法指定



■大規模基盤整備が進む生保内南地区

地域になっており、当該地域では1団地10ha以上の小規模基盤整備事業が可能となり、採択要件が緩和されている。

農業の担い手育成の取り組みを

質問 若い人が就農しないのは、農業で生活できないからで、魅力があつて生活ができるのであれば、担い手となる若い人がどんどん就農する。魅力ある農業で担い手育成の取り組みを図るべきではないか。

答弁 さまざまな制度の導入で担い手育成に努めている。例えば、農業経営力向上支援事業、農業法人確保育成事業等法人化の支援を行っている。青年就農者に対しては、年間150万円の就農給付金や夫婦で就農する方には年間225万円、最大5年間給付される制度もある。これまでに5名と3組の皆さんが交付金を受けて就農している。

新市立角館総合病院前の市道に安全対策を

質問 新市立角館総合病院の患者さんが調剤薬局からの薬をもらうために、市道岩瀬・北野線を横断している。今後、横町からの道路の開通により車の交通量が増加して危険となる。横断歩道の標示や標識等の安全対策の計画をしているのか。



■交通量が多い、新市立角館総合病院前の市道岩瀬・北野線

答弁 新市立角館総合病院前市道の安全対策については、病院開設前に仙北警察署と横断歩道の設置について協議、現地立ち会いを行っている。設置にあたっては、歩行者、横断者の利用状況等の調査が実施された後で秋田県公安委員会へ報告され、公安委員会が判断する手順になっている。

(伊藤邦彦記)



高橋 豪 議員

若者向け住宅建築支援制度は不備が多い

市長 速やかに改めます

若者向け住宅建築支援制度をより使いやすいものに

質問 昨年度から開始した若者の住宅新築助成制度の成果をどう分析しているのか。

答弁 新築の件数は平成27年度が28件、平成28年度が42件で、制度開始前と比較し14件増加している。制度による経済効果は3億7,868万円、市内事業者においては2億1,650万円と大きな成果があったと分析する。

質問 大きな成果を上げてはいるが、最近、予算がないとの理由で申請を断られる、または制度の欠点により対象者であっても利用できないケースも出てきた。さらには周知不足により制度を知らないまま

ま建築中の方もいるため、これらを改善し、早急に対応するべきではないか。

答弁 制度スタート時において具体的ケースを想定できていなかった。要綱では年度内に工事を完了させなければならぬが、3月着工の方などはそれに間に合わず制度を利用できない場合もあった。こうした事例も含め、要綱の不備を早急に改めたい。また、予算も十分に確保し対応したい。周知については広報やホームページを通じ、また、市内業者等へは直接行っているが、不利益のないように再度徹底する。

第2子以降の保育料無料制度について

質問 昨年度から第2子以降の保育料無料化を実施しているが、所得制限の在り方を問う。

答弁 所得制限により、第2子以降のいる家庭の5%が無料ではない。人口減少対策は喫緊の課題であり、所得の違いによる不公平感はなくしたい。県と協議中ではあるが、来年度から所得制限を行わない方向で進めたい。

待機児童対策と保育士不足への対応はどうか

質問 待機児童をださないために継続して取り組みを進めるべきである。保育士不足やその待遇改善、また、今後の保育所運営について伺う。

答弁 6月1日現在の待機児童数はゼロである。民間ボランティアの協力や家庭的保育事業所も開設して頂いているが、今後もバックアップを進めたい。保育士不足への対応として、臨時職員の賃金や休暇制などの改善も進めている。現在は市内2園が社会福祉法人「はなさき仙北」による法人運営に移行しているが、他の園については今年度中に方針を明らかにしたい。

子供の遊び場公園整備や遊具の設置を

質問 子供を安心して遊ばせることのできる公園整備や遊具設置については以前から議論しているが、昨年は角館駅東公園にコンビネーション遊具が設置され大変好評であった。こうした声をどう分析し今後に生かすのか。また、今年度は生保内公園の遊具の修繕等も予算化されているが、

既存遊具の修繕や更新の考え方を伺う。また、西木地区はそうした場所が不足しているように見受けられるが今後の対応を伺う。

答弁 公園利用の実数については把握できていないが、今後は公園利用者の声を計画づくりに反映させるため、利用者からの聞き取りやアンケート調査を行いたい。既存の遊具は3年に1回点検をしているが、修繕が必要なものとは今年度と来年度で対応する。今後も計画的に更新や修繕を実施する。西木地区では湯前山森林公園や旭山公園に遊具が設置されているが、その他についても検討中である。

質問 広い敷地に大型の遊具が設置されている施設を利用するため、わざわざ他市町村へ出かける方々も多い。こうした需要にどう応えるのか。

答弁 大規模なコンビネーション遊具が欲しいという声はよく聞いている。遊具設置、既存遊具の更新、修繕は今後も取り組んで行くが、同時に屋内でも遊具設置ができる環境づくりを進めたい。

(佐藤大成記)



■若者の住宅新築促進で定住を図れ(現在市内に新築中の住宅)

病院事業の一時借入金は問題だ



安藤 武 議員

市長 危機的状況を改善したい

病院経営に何が必要か

質問 病院経営の生き残りのために何が必要か。新病院の経営形態は、どこをどう変えたのか。

答弁 病床数を47削減し、MRI、CT、血管造影撮影装置などを新たに導入し、最新医療機器を駆使して診断、治療を行っている。特に血管造影撮影装置は、脳疾患など血管内治療に威力を発揮し、ほかの病院からドクターヘリで搬送された事例もある。

質問 財務分析の基本である貸借対照表、損益計算書から見た分析で平成28年度は、どのように取り組まれたのか。

答弁 田沢湖病院は経営安定のため一般会計から基準外繰入を一億円入れた。角館総合病院は赤字の見込みである。その要因は、医師の退職であったり、診療報酬改定により病棟機能の変更、新病院移転に伴う入院患者の抑制等、複数の要因が重なり合っており収益減少した。

質問 全国で一時借入金が一億円以上発生している自治



■新たに導入された血管造影撮影装置

体が公表されている。当市では8億円以上の借入金が発生しているのは問題ではないか。

答弁 一時借入金は、一時的な現金不足を補うために発行される起債、借金であり恒常的な借入金とは全く性質が異なるものである。しかし、危険水域に達していることは間違いない。だから今、本当に危機的状況を改善するための処方箋を打っている。

市長の2期目を振り返つての心境は

質問 職員からの提案、住民からの声など効果的な行政運営ができたのか。

答弁 政治は結果がすべてとよく言われるが結果が出たもの、出ないものさまざまあった。行政サービスの維持、向上と新たなサービスの提供ということに努めてきたと言う自負心はもっている。

質問 地域活性化の取り組みは十分だったのか。

答弁 幾つかの成果はあったが、私が理想とする地域活性化は、地域の活動が行政の枠を超える大きなうねりとなり、やがて行政をも飲み込む活動になることである。

質問 市長選の日程も決まり、市長は三選を目指すのか。

答弁 一言で言えば、その判断の要素は、次の四年間私のキャラクターが仙北市にとって有益か、否かである。瀬戸際の中で自分の考えをめぐらしている状況であるので熟慮の時間をもう少しいただきたい。

(大石温基記)



■地域活性化に取り組む岡崎地区の皆さん